

保健文化賞

主催：第一生命保険株式会社

後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団

保健衛生向上のために・・・

「保健文化賞」の創設

第一生命は、生命保険業を通じた社会への貢献とともに国民の皆さまの健康・保健衛生の向上に努めています。当賞は、保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設。おかげさまで今年75回目を迎えます。厚生労働省などの後援を得て毎年実施し、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を表彰しています。



近年では・・・「高齢者支援」「障がい者福祉」「メンタルヘルスケア」などに取り組む、NPO法人なども多く受賞されています。

受賞者の方々は
天皇陛下の拝謁をお受けいただいております、
権威ある賞として高く評価されています。

過去の受賞者様ご紹介

受賞年 (受賞回)	受賞者名 (敬称略)	功績
2021年 (第73回)	<団体の部> 特定非営利活動法人 Fine	不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊に関わるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している。
2021年 (第73回)	<個人の部> 須藤 英毅	側弯症学校検診の確実な実施に向けた啓蒙活動と側弯症を早期に発見し支援に繋げていく環境整備を幅広く実施することで、重症化を予防する先制医療等による小児保健衛生の向上に貢献している。
2022年 (第74回)	<団体の部> 認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	日本の医療の中に、シャイン・オン！キッズが心のケアの提供をプラスすることで、子ども達が入院中でも笑顔で過ごす事ができるようになるとともに、コロナ禍でも中断することのないケアの提供により、病気の子供達に勇気と希望を与える活動を通じて、病気の子供達達のQOLの向上に貢献している。
2022年 (第74回)	<個人の部> 豊嶋 崇徳	唾液中の新型コロナウイルスの存在に気づき、その後、産官民一体で極めて短期間のうちに唾液検査法を確立し、コロナ対策を大きく進歩させ、唾液検査の普及に貢献。